



緩効性ホルム窒素入り

ホルムグリーンⅡ

ナタネ油粕・魚粕の特長を化成に生かしました!!

15-10-13

20kg



 サンアグロ

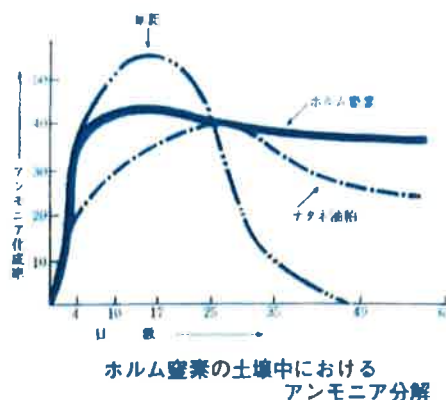
ホルム窒素入り
緩効性高度化成

ホルムグリーンII

ホルムグリーンIIのすぐれた特長

◆ゆっくり効いて、肥効が長もちする。

窒素の形態が、アンモニア態、尿素態の他に、油粕と同じ働きをする 緩効性のホルム窒素が入っていますから、窒素が一度に効いて根を痛めたり、肥切れを起こすことがないので肥効が高く従って施肥の回数を減らすことができます。



◆肥焼けの心配がない。

速効性の肥料を多く施すと、一時的に肥料濃度が高まり、根の生育に障害を与えますが、ホルムグリーンIIには水に溶け難い緩効性のホルム窒素を多く含んでいますので、その心配がなく安心して使用出来ます。

◆土や根をいためない。

ホルムグリーンIIは、ホルム窒素を主体とし、成分の高い原料ばかりを使っていますから副成分が少なく、連用しても土を荒したり根をいためません。

ホルムグリーンIIの成分

チッソ 15%	リンサン 10%	カリ13%
アンモニア	ホルム窒素	水溶性
5.5	9.5	13.0

◎ホルム窒素の土壌中における分解

- I ホルム窒素は水に溶けず、土壌中の微生物によってのみ分解されます。従って微生物も増殖します。
- II ホルム窒素は4段階の肥効を示します。すなわち最初に比較的速効性の尿素が分解し、次いで1メチレン2尿素、2メチレン3尿素、3メチレン4尿素の順に分解し、早効きから遅効きまでの成分がジワジワと肥効をあらわします。

ホルム窒素の分解順序



特約店

発売元

 サンアグロ

FORM GREEN



15-10-13

芝・緑化専用肥料

緩効性ホルム窒素入り

ホルムグリーン

特約店

発売元

 **サンアグロ**

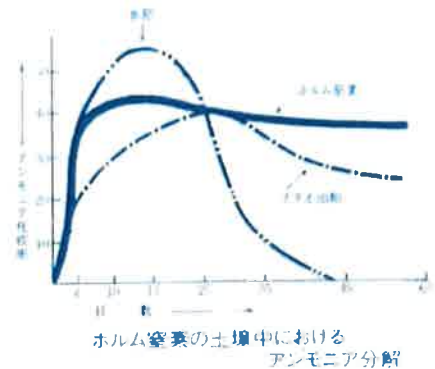
ホルム窒素入り
緩効性高度化成

ホルムグリーン

ホルムグリーンのすぐれた特長

◆ゆっくり効いて、肥効が長もちする。

窒素の形態が、アンモニウム態、尿素態の他に、油粕と同じ働きをする 緩効性のホルム窒素が入っていますから、窒素が一度に効いて芝を軟弱化したり、肥切れを起すことがないので肥効が高く従って施肥の回数を減らすことが出来ます。



◆肥焼けの心配がない。

速効性の肥料を多く施すと、一時的に肥料濃度が高まり、芝の葉焼けや根の生育に障害を与えますが、ホルムグリーンには水に溶け難い緩効性のホルム窒素や水溶性硝酸を多く含んでいますので、その心配がなく安心して使用出来ます。

◆土や芝の根をいためない。

ホルムグリーンは、ホルム窒素を主体とし、成分の高い原料ばかりを使っていますから副成分が少なく、**連用しても土を荒したり芝の根をいためません。**

ホルムグリーンの成分

油粕	15%	リン酸	10%	カリ	12%
アンモニウム	ホルム窒素	水溶性	硝酸	水溶性	水溶性
4.0	10.5	19.0	2.0	13.0	

◎ホルム窒素の土壌中における分解

- i ホルム窒素は水に溶けず、土壌中の微生物によってのみ分解されます。従って微生物も増殖します。
- ii ホルム窒素は4段階の肥効を示します。すなわち最初に比較的速効性の尿素が分解し、次いで1メチレン2尿素、2メチレン3尿素、3メチレン4尿素の順に分解し、早効きから遅効きまでの成分がジワジワと肥効をあらわします。

ホルム窒素の分解順序



◎芝生地年間施肥例 (g/m²)

	1~2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10~12月
ティーランド		20~40		20~40	20~40	20~40		40	30
フェアウェイ			30~40				30~40		
ラフ			50~80						
一般緑地			80~100				80~100		

健全な土づくり、
美しい緑の芝づくりに...

●草炭質栄養腐植

フミロン

●フミロン入り土壌改良資材

シリカフミン